

「知行合一」

知行合一とは:知識と行為は一体であるということ。本当の知は実践を伴わなければならないということ。

県精連中堅研修では、この言葉を合言葉にして研修を企画しています。事例を検証しながら知識と経験をコラボさせ、学んだことを行動に活かせるような研修にしたいと考えています。

「事例を通じて当事者とのかかわり方と

他（多）機関との連携について考える PART-III」

テーマ

当事者の方と長く時間を共有しているグループホームの職員だから気付けることがあります。でも、グループホームの支援だけでは限界を感じる場合があります。そんな時に、どうやってご本人と対話し、他の機関と連携してニーズを満たそうとしているか、グループホームが当事者の方の生活支援にとってどんな役割を担っているかを知り、考える機会になれば幸いです。

日時

2024年 12月 7日（土） 受付13:00～

開始 13:30～ 事例発表及び講義・グループワーク

会場

藤沢商工会館ミナパーク502号室

〒251-0052 藤沢市藤沢607-1（JR藤沢駅より徒歩約5分）

研修参加は費無料です

講師

横浜市青葉区役所 高齢・障害支援課課

篠崎安志氏

横浜市青葉区役所
高齢・障害支援課障害支援担当
(社会福祉専任職)

全国精神保健福祉相談員会(全精相)会長
横浜市の職員として長く精神保健福祉相談に従事し、
当事者の方への直接のご支援のみならず地域づくり
にも尽力。

近年では、精神障害にも対応した地域包括ケアシ
ステムの構築推進のために多くの自治体での研修会な
どにも参加されている。

事例
報告

グループホームみらい伊勢原

山田 千尋氏

(県精連グループホーム部会長)

締切

2024年 11月 29日

主催 神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合

<http://www.kenseiren.sakura.ne.jp/>

お問い合わせ 県精連事務局 TEL 0463-79-9441